

1月の第4クォーター開始からなかなか18名が揃わず、もどかしい日々が続く中、オンライン授業となったことで、普段熱気に包まれていた教室は子どもたちのいないことで、冬の寒さを一層感じた1週間でした。現在実施しているオンライン授業は、保護者の皆様のサポートがあってこそ進めることができます。今週も3日間実施して参りますので、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

オンライン授業

2/1(火)の午前中、突然の翌日からのオンライン授業への変更のアナウンスに、子どもたちは一瞬驚いた表情は見せたものの、すぐにGoogle Meetの復習をしたり、春と秋のオンライン授業で楽しむことができた「好きなもの紹介」の発案が出たりと、一喜一憂せず冷静な形でオンライン授業の準備を進めました。

前回は登校してくる子が1/2名と比較的少なかったですが、今回は毎日5/6名の子たちが登校してくるので、授業の合間や活動中は登校している子たちが頑張っているラーニング・コモンズに降りて、声かけをしたり、雑談をしたりしていました。昼休みは距離をとりながら給食を一緒に教室で食べていますが、自宅からオンラインで接続している子の中で昼食を終えた子たちも再度Google Meetでつながり、たわいもない話ができるのも、オンライン授業ならではのものだと感じました。

1日iPadの前で過ごすことは疲れも溜まりますし、学習もスムーズに進まないことがあるので、難しい状況ではあるものの、ある保護者の方から、「前回のオンライン授業の時に、うちの子が『普段はマスク姿でしか会えない友だちとマスクなしで過ごせるのが楽しい』と言っていました。」とお話を伺い、新たな喜びを感じました。早くコロナが終息し、マスクなしの姿で、みんなで学校生活を送ることができる日を改めて待ち望んでいます。

愛唱歌プロジェクト ~理事長の思い~

翌日に授業を控えた2/1(火)にオンライン授業が確定したため、再延期の雰囲気クラスに漂った時は暗くなりましたが、理事長の方から気にかけて教室に来てくださり、予定通り2/2(水)にオンラインで実施することが決まりました。

当日はSOLANを作った理由や今を生きる大人たちの責任、また宇宙船地球号のお話やSOLANの子はどんな子たちであってほしいかなど、長尾理事長には45分間熱く語っていただきました。ミッションを発出した時のプロジェクト最初の授業で、ペアで話し合う活動でペアのいない子がいることに気づいたあるペアが「こっちに来て一緒に相談しようよ」と声をかけたことや、先日の研究発表会で自分たちの発言が取り上げられ、評価されたことにハイタッチをして喜んでいたグループがいたことなど、3年1組の子どもたちが持つ優しさや明るさも、SOLANらしさを物語るエピソードとしてお話しいただきました。

プロジェクトの次の時間では、理事長のお話をもとに子どもたちそれぞれが思考ツールのピラミッドチャートにまとめました。簡単な話ではなかったものの、自分たちや私のメモをもとにかなり具体的にまとめられている子もいました。愛唱歌につながるSOLANのイメージのベースにある長尾理事長の思いを聞き、子どもたちは改めてSOLANの子どもであることの自覚と責任を感じられたのではないかと思います。

写真はプロジェクトの授業で理事長のSOLAN設立の思いをオンラインで聞いている様子です。